

# 令和3年第1回産業建設常任委員会 要点記録

開閉会日時	令和3年1月27日（水曜日）			開会	9:58	会議場所	委員会室2・3				
				閉会	11:32						
委員の出欠	1 番	宮越 正人	出席	6 番	大内 省吾	出席	9 番	今西 和雄	出席		
	10 番	小林 敏之	出席	11 番	瀧川 榮子	欠席					
出席説明員	産業振興部長		産業振興部次長兼水産みどり課長		農政課長		商工観光課長				
	門脇 芳則		出席	小湊 昌博		出席	小野 武史		出席	田畑 直樹	出席
	農政課主幹		商工観光課主幹			商工観光課主幹		水産みどり課主幹			
	上田 健一		欠席	岩口 裕昭		出席	堀込 美穂		出席	大坂 恒夫	出席
	農政課主査		農政課主査			水産みどり課主査					
	武田 文吉		欠席	寺澤 淳司		欠席	古里 達也		出席		
	建設水道部長		建設水道部次長兼管理課長		事業課長		建築住宅課長				
	山岸 英一		欠席	伊藤 一成		欠席	袴田 充輝		欠席	川畑 智明	欠席
	上下水道課長		事業課主幹			上下水道課主幹		管理課主査			
	外石 昭博		欠席	廣島 静治		欠席	福原 仁史		欠席	前道 陽司	欠席
	管理課主査		建築住宅課主査			建築住宅課主査		事業課主査			
	伊藤 武史		欠席	入田 浩明		欠席	篠田 敬介		欠席	佐竹 和仁	欠席
	事業課主査		上下水道課主査								
	板垣 正博		欠席	植松 拓也		欠席					
	農業委員会事務局長		農業委員会主幹		農業委員会主査						
	中村 公一		欠席	椋木 直人		欠席	藤巻 成司		欠席		
	委員外の出席							合計	名		
	事務局職員	事務局長	小島 実					合計	1名		
傍聴者数	一般	0名		報道関係者	0名		合計	0名			

## 会議に付した事件及び会議結果など

発言者	会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。
委員長 9番 今西	9:58 開会
委員長 9番 今西	出席委員4名、欠席議員1名、会期1日 挨拶
産業振興部長 門脇	【産業振興部所管事務調査】
委員長 9番 今西	挨拶及び概要説明
商工観光課主幹 堀込	議事1 所管事務調査について
	(1) 新型コロナウイルス感染症の影響に対する経済対策について
	・別海町超プレミアム商品券の実施状況について（資料P1）
	プレミアム商品券 1/18現在の換金状況（12/31商品券利用期間終了）
	共通券 124,485,500円 飲食宿泊券 23,676,000円
	大型店以外限定券 37,352,000円 合計185,513,500円
	換金率 98.9% うち大型店の換金 71,614,500円（57.5%）
	42.5%が大型店以外の地元商店利用。
	商品券全体では 61.4%が大型店以外で換金されている。
	・資料中段の月別、地域別換金状況。
	下段の飲食・宿泊専用券の利用状況、換金割合は カフェ・食堂 72%
	居酒屋 20.9% バー・スナック 1.7% 宿泊施設 5.4%
	商品券全体の換金割合は カフェ・食堂 68.8% 居酒屋 22.8%
	バー・スナック 3.5% 宿泊施設 5.4% このことから、バー・スナック
	には、プレミアム商品券の効果が波及しなかったと分析している。

# 令和3年第1回産業建設常任委員会 要点記録

委員長 9番 今西

委員 1番 宮越

商工観光課長 田畑

質疑

・バー・スナック、宿泊施設の利用が少ないが、店主からの要望は無いのか。  
 ・スナック・バーの方から支援をしてほしいと商工会から要請が来ている。  
 同時にスナック振興会という組合を設立したと報告があった。  
 この振興会からも先週町長に支援要請がありましたので、支援策を考えて  
 行きたいと考えている。

委員長 9番 今西

①去年、経済対策を試みた中で、具体的な数字を見て関係事業者は  
 どのように受け止めているかを行政で把握しているのか。  
 前回、アンケート調査を取ると言っていたので、その結果も踏まえて回答  
 願いたい。

②新たな経済対策に向けての受け止め方は。

商工観光課長 田畑

・①②昨年9月～12月についてのアンケート調査を行った。プレミアム商品  
 券の利用が思わしくない飲食・宿泊業76件対象のうち、32件の回答。  
 Gotoイート、Gotoトラベルが動いていたときは、右肩上がりだったが、  
 緊急事態宣言、外出自粛要請が出てからは右肩下がりとなった。  
 商工会や個人事業者からはプレミアム商品券が非常に助かったと言う声が  
 大多数だった。

昨年全体を通しては、3月～5月について、緊急事態宣言、外出自粛  
 要請によって、各事業主の自助努力では客が来てもらえない、客足が遠の  
 いてしまった方々に対して、直接的、金銭的な支援策をやった。

国全体で外出自粛要請が解禁になり、街に人が溢れて自由に消費者が  
 動き出せるようになってから、プレミアム商品券とシフトチェンジしていったが、  
 12月・1月については、3月、4月と同様に消費者が外出自粛となった。

第3次の予算も衆議院を通過しまして、今後予算化されますが、第2弾の  
 プレミアム商品券は考えていない。

プレミアム商品券は行政側が補助をするので、町民が街に出る対策だが  
 今は国、道からは家から出るなど言うことで相反する対策になる。

昨年の3～5月のように外出を控えたことによる個人事業主が自助努力で  
 どうにもできない対策に戻らざるを得ないとして計画中。

産業振興部長 門脇

・飲食関係は独自のテイクアウトなどの実施、プレミアム商品券を使ったので  
 12月は落ち込みはしたがある程度良かった。

しかし、1月になって人が出なくなって、商店も、飲食もかなりひどい状況に  
 なっている。居酒屋、食堂は独自にテイクアウトなどで、いろいろできるが、  
 スナック・バーは自助努力ではどうしようもない。

宿泊に関しては、Gotoトラベル、道民割り、大きな公共事業の宿泊客が  
 いる情報もあるが、1月になってからはかなり厳しい。

今後は、3次補正もあるが何らかの対策を考えて行かなければならない。

委員長 9番 今西

・現況把握をするという事が大事。調査をして最大限の効果出るようにして  
 もらいたい。

産業振興部長 門脇

・商工会、各部会と綿密な協議をしているので状況把握はしている。  
 議員を含めて皆が同じ方向に向けるよう、聴き取り・対策をしていきたい。

委員長 9番 今西

(2) 水産業振興策について

水産みどり課主幹 大坂

・さけ・ます増殖事業の状況について（資料P2）

さけ・ます増殖事業の経緯

1951年 昭和26年水産資源保護法の公布により、翌年から北海道  
 のふ化放流事業は国に移され、国で一括実施。

# 令和3年第1回産業建設常任委員会 要点記録

1967年(S42) 国、道、民間の3者が分担し運営することとなった。  
平成9年に国は増殖事業から撤退し、民間の公益社団法人 北海道さけ・ます増殖事業協会と道内9管内の一般社団法人 さけ・ます増殖事業協会が さけ・ます増殖事業を担っている。

## 1、根室管内さけ・ます増殖事業協会の概要

(1) 所在 一般社団法人 根室管内さけ・ます増殖事業協会  
標津町に所在。組織機構は資料参照。

国：国立研究開発法人水産研究・教育機構 北海道区水産研究所  
北海道：(地独)道総研さけます・内水面水産試験場

(公社) 北海道さけ・ます増殖事業協会

(一社) 管内さけ・ます増殖事業協会 (全道9地区)

▼ 漁協・市町村・定置漁業者

## (2) 構成員

①8漁協 (羅臼、標津、野付、別海、湾中、根室、歯舞、落石)

②8漁協の154の定置会員 (別海20家統 野付34家統)

③根室管内 1市4町

## (3) 事業内容

・北海道が策定した「さけ・ます人工ふ化放流事業」及び管内増協が策定して入る「さけ・ますふ化放流計画中期方針」に基づき、捕獲採卵事業から、ふ化放流事業まで一元管理で実施している。

・人工ふ化事業の流れ

河川遡上⇒捕獲⇒畜養⇒採卵・受精⇒受精卵収容⇒  
発眼・ふ化・飼育⇒放流⇒降海⇒回遊・回帰⇒漁獲  
メスひと腹 2,500～3,000粒 発眼・ふ化 2か月程度  
回遊 3～5年

## 2、負担金

管内増協の事業は、さけ・ます漁獲高割負担金 総水揚げの6.8%  
会員会費は本年度1万円負担 (変動有り)

増協は水揚げが少ないことから計画する負担金に至らないため、運営に必要な毎年5億から6億かかる経費を、凶漁で漁家が負担できず、増協の内部留保を切り崩して負担しているが、その資金もあと数年で枯渇してしまう状況となっている。

## 3、令和元年度の主な実績

### (1) さけ・ます親魚捕獲採卵事業

捕獲採卵河川 12河川、補完河川 1河川、単年許可 2河川

①捕獲数 計画255,800尾 実績205,833尾 (計画比80.5%)

②採卵数 計画223,480千粒 実績220,333千粒( " 98.6%)

### (2) ふ化放流事業

平成30年度捕獲採卵稚魚 ⇒ 令和元年度春まで飼育 ⇒

211,779千尾放流

委員長	9番	今西
委員	1番	宮越
水産みどり課主幹		大坂
委員	1番	宮越

質疑

- ・ さけ親魚捕獲採卵事業の計画比80.5%とあるが、100%に足りない分はオホーツクほかから譲ってもらっているということか。
- ・ そのような解釈でよろしいです。
- ・ 19.5%をどこなら譲り受けているのかはわかっているのか。オホーツク管内だけか。必ず100%にする解釈で良いんですよね。

## 令和3年第1回産業建設常任委員会 要点記録

産業振興部長 門脇

委員 6番 大内

産業振興部次長 小湊

委員 6番 大内

産業振興部長 門脇

委員 6番 大内

産業振興部長 門脇

委員長 9番 今西

産業振興部次長 小湊

委員長 9番 今西

産業振興部長 門脇

委員長 9番 今西

産業振興部長 門脇

委員長 9番 今西

商工観光課主幹 岩口

- ・計画比80・5%の捕獲数となっているが、採卵数は計画比98.6%となっており1.4%不足分はこのままで、100%には持っていけない。  
いろいろ融通した中で、この98.6%まで持ってきたもので、新聞では根室管内では27%下回っているという中で、今後どうするのかは増協から話を聞いていない。私も増協の役員なので話があると思う。いずれにしても全道で融通しあってこの数字になっている。
  - ・サケの回帰率はどのくらい。
  - ・(地独)北海道総合研究機構 さけます・内水面水産試験場で予想しているが、毎年はずれている。  
今までの計算方法では乖離があるので計算方法を変えて、予測を下げても今回の状況になっており予測は立たない。
  - ・調査する根拠になるので調べてほしい。
  - ・回帰率は4年前にどれだけ放流して、4年後、5年後に何匹取れたかと言う正確な数字は出ないと思う。今言われているのが、放流した後の河川の状況、海に出た後の温暖化による温度の状況、途中での餌の状況など、いろいろあって、回帰率がどうのと言うことは難しいと思う。  
今年度末に、増協での理事会等で話が出ると思うので、出れば次の機会に話ができると思うが、予想も外れる状況で今後どのようにしていくかをさけます増協で真剣に考えなければならない。令和元年、2年度も80億の水揚げの予定で5億4千400万円の負担金と考えていたが、令和元年度で1億9千500万円のマイナス、本年度は2億8千900万円マイナス、予定の半分以下で事業が成り立たない状況で、負担金を上げるわけにもいかず増協も考えて行かなければならない。
  - ・湾内での養殖は考えてないのか。
  - ・根室では紅サケの養殖に失敗している。流氷が来るので海洋養殖は難しい。
  - ・ふ化事業の採卵数98.6%は、他からの卵も入ったものか。
  - ・多いところから、融通していただいている。
  - ・補正予算で手だてがされたが、一過性のものと受け止めている。行政としても応援できる部分はしっかりして行くと思ったが、今後どのように会議に臨むのか。
  - ・本町だけでなく全道的な問題なので、国、道にも強力にお願いしたい。  
これだけ落ち込むと、次どうするのか、今年度新たな取り組みも4年後でないと結果が出ない中で、国後島では海の近くで放流しても帰ってくる話があったり、いろいろな方法を試して行かなければならないと、増協でもいろいろ考えており、町としてもそれに対して応援していきたい。
  - ・当初は国の事業、現在は民間中心だが、今一度国の出番はないのか。
  - ・国が止めたものを復活するとは思えない。強力な支援策はお願いしなければならぬが方法が難しい。増協、1市4町で支援を道や国に支援を求めて行かなければならない。
- (3) ふるさと交流館について
- 1、指定管理に関する事項 指定管理者との協議
- ・指定管理満了に向けた(株)郊楽苑との協議  
令和2年9月11日の全員協議会で町長から報告。  
その後、会社に指定期間の満了、以降は町営での運営を通知。  
10/22、11/17、12/2、R3/1/19に会社から協議の申入れあったが、10/22～12/2の3回は協議しない旨の回答済み。  
R3/1/19分は、弁護士を通しての受任通知書で協議、質問あり。

# 令和3年第1回産業建設常任委員会 要点記録

これに対して、町も弁護士を入れて対応。顧問弁護士と協議中。

- ・施設の引継ぎについて  
R3/1/20通知。引継ぎ先は町、引継ぎ期間は1/25～3/31の間。  
R3/1/22 弁護士が入って調整、引継ぎは出来かねるとの回答あり。

2、改修工事に関する事項

- ・工事内容は、機械室配管等改修、宿泊棟間仕切り、源泉揚湯ポンプ更新を予定していたが、弁護士対応もあり、4月からの工事開始が不透明。機械室の配管部品が特注であることから準備に2か月半程度かかる予定で、当初予算は計上を見合わせた。

3、令和3年度業務再開に関する事項

- ・入浴再開時期 ⇒ 5月ゴールデンウィーク前後  
4月は新しい職員の研修期間としたいが、引継ぎの関係で不透明。
- ・運営時間及び運営方法 ⇒ 現状11時30～22時  
早い時間からの開始としたい。
- ・一部委託を行う業務の選別 ⇒ 管理運営全般で業務委託。
- ・人材確保 ⇒ 商工観光課の職員が対応。ほかに会計年度任用職員の採用と併せて委託業務の中で運営したい。

委員長 9番 今西

質疑

委員 1番 宮越

商工観光課長 田畑

- ・指定管理の協定書では、会社から何か言えるような内容になっているのか。
- ・協定ではそのようなことは出来ないことになっている。義務が条項の中でうたわれていますので、弁護士とも相談しまして、協定書のとおり早急に引き継ぐよう伝えている。弁護士を通しての回答となるが、引継ぎに関しては何ら問題ない。

委員 6番 大内

商工観光課長 田畑

- ・弁護士対応なら時間がかかるのではないか。
- ・前回の使用貸借から指定管理の時も、弁護士が入って2～3か月くらいかかっていた。5月前後の再開については、新しいスタッフになりますし、施設の機械がどのような状態かもわからないので、スタッフの訓練等も含め1か月程度考えていたが、このお互いの弁護士対応ではっきりしたことは分からなくなった。当初は4月1日からの改修と考えていたが、当初の予算要求は見合わせて、解決の後と考えている。弁護士に依頼したのが昨日であるので今後の状況はまったく分からない。逐次委員会に報告したい。

委員長 9番 今西

商工観光課長 田畑

- ・引継ぎの問題はあるが、直営に向けての準備は着々と進めていかなければならない。再開は町民にも公言している中で、機械改修や職員配置や業務委託については、すぐスタートできるような段取りが必要だと思うが。
- ・弁護士を入れての話し合いと町長が言った4月1日からの直営は切り離して考えている。4月から貸借に変わるとか、指定管理期間が延びるとかは一切ない。議会で指定管理者の指定もしていない。仮に占拠された場合は、しかるべき対応を取ることになる。

委員長 9番 今西

産業振興部長 門脇

- ・直営に向けて出来るだけ早く準備をして整えていくことを委員会として確認。
- ・例えば、会計年度任用職員は確保することはできるが、占拠された場合委託業者に従業員を抱えさせて営業ができない？とは行かないので、流れを見定めないとならない。

委員長 9番 今西

10:55休憩

委員長 9番 今西

11:05再開

委員長 9番 今西

議事2 その他

(1) 別海町鳥獣被害防止計画について

# 令和3年第1回産業建設常任委員会 要点記録

水産みどり課主査 古里

令和3年度策定予定の計画を概要版で説明。(資料P8)

1、目的：鳥獣による農林漁業被害や生活環境被害の防止するため基本的な方針や数値目標を定める。

2、計画期間：令和3年度～令和5年度

3、鳥獣による農林水産業等に係る被害防止に関する基本的方針  
現在被害の報告はないが、牛舎付近で目撃のあるアライグマ、ミンク、イタチ(オス)を対象鳥獣として新たに追加。

(1) 被害の軽減目標

・エゾシカの農業被害は、令和元年度 牧草地被害 1,320ha 46,950千円っており、町内全域を対象に銃器等駆除、侵入防止策の設置による被害の軽減を図り、令和5年度には、目標値を被害面積1,000ha、被害金額を32,850千円に定める。

・キツネ、カラスの被害は牧草ロール、乳牛等への直接被害。  
タヌキ、イタチはデントコーン、配合飼料の食害。

アザラシによる漁獲物捕食被害は例年発生しているので、銃器やわなによる捕獲等の対策を講じ、被害の軽減に努める。

(2) 従来講じてきた被害防止策 (3) 今後の方針は資料参照。

4、対象鳥獣の捕獲計画

エゾシカ有害駆除 令和3年度～5年度 各年 3,700頭

5、侵入防止柵の整備計画 (JAが実施主体)

エゾシカ 金網・電気柵 令和3年度～5年度 各年 25,000m

今後のスケジュール

昨年12月中旬から本年1月上旬⇒別海町有害鳥獣対策協議会から素案に対する意見を聴取。

2月上旬に30日間のパブリックコメント。3月上旬に道との協議、認定。

4月に新計画のスタート。

委員長 9番 今西

質疑

委員 1番 宮越

産業振興部次長 小湊

・アザラシ被害は、過去に比べて増えているのか、減っているのか。

・現状分かっていない。毎年ロシアトロールの要請の時にあわせて、アザラシの被害を国に要請しているが、北方4島で生息しており、時期によって南下して現れているので実際の生息数はつかめていない。

国の方で年間の捕獲頭数が決められているので、漁協の被害等の報告を受けて、有害捕獲の頭数を決めて捕獲してもらっている。

・漁協からの被害報告は。

・トド・アザラシ被害は、H29年度1,328万2千円、R元年度1,425万4千円

・駆除方法は。

・銃器による駆除。海上では光の屈折で的が絞れない。陸に上がったところでの駆除なので難しい。

・ヒグマの畜被害はないのか。駆除はできないのか。

・北海道にヒグマの被害の計画があるので、それに基づいて動いている。

町でも内規的に計画を立てて、箱わな設置、捕獲されたら銃器処分となるが、警察や道の許可をもらって動いている。緊急の場合は速やかに行うことはできると思うが、被害の恐れがあるかどうか、その判断が難しい。

市街地や民家の近くに出没した場合は、町内会と相談して箱わなを置くが、箱わなには餌を置くので、さらにクマを呼び寄せる懸念もある。また、設置した場合、毎日の確認管理も大変。昨年床丹では2か月間置いて、やめようと

委員 1番 宮越

水産みどり課主査 古里

委員 1番 宮越

産業振興部次長 小湊

委員 1番 宮越

産業振興部次長 小湊

## 令和3年第1回産業建設常任委員会 要点記録

	<p>思ったときに捕獲された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的に街場に近い所は、地元と協議して、置いてほしいと要望があったときは置く。街場でも中西別市街のように近くの国有林を通っても、いつも通っていると気にしない地区や、西春別旧市街の本久町に向かう橋の下を歩いていることを会長も認識しても気にしていない。危険判断が難しい。今後も出没看板は立てるが、捕獲となると地元の方の意向も組んで対応したい。ただ、標茶のように乳牛に被害があった場合は、すぐにでも捕獲しなければならない。</li> </ul>
産業振興部長 門脇	
委員 1番 宮越	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カラスの駆除はどうなのか。</li> </ul>
産業振興部長 門脇	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農政では家畜自衛防疫組合を通じて1羽500円で買い取っている。最近はカラスの問題は特に出していない。</li> </ul>
委員 1番 宮越	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年カラス駆除の実績はあるのか。</li> </ul>
産業振興部長 門脇	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家畜自衛防疫組合では中山間から助成をいただき、農家で被害があった時に、ハンターに行ってもらい駆除している。予算的には2,000羽分くらいの処理規模であるが、本年度は1,000羽弱の駆除だと思う。</li> </ul>
農政課長 小野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地は銃器が使えないので、農家地区のみだが毎年同程度の駆除をしている。</li> </ul>
委員長 9番 今西	<ul style="list-style-type: none"> <li>・銃器使用者の高齢化に対する対策は。</li> </ul>
産業振興部次長 小湊	<ul style="list-style-type: none"> <li>・猟友会の高齢化は全国的なこと。免許取得、更新時の保険加入金の助成を行っている。</li> </ul>
副委員長 6番 大内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駆除を自衛隊にお願いできないのか。退職自衛官はどうか。</li> </ul>
産業振興部次長 小湊	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考えたことはあるが、難しいと思う。</li> </ul>
産業振興部長 門脇	<ul style="list-style-type: none"> <li>・退職自衛官の採用は部署が違うので答えられない。今後、パブリックコメントの結果を休会中の委員会で説明し報告としたい。</li> </ul>
委員長 9番 今西	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員了解した。その他ないか。</li> </ul>
農政課長 小野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年11/6～11日開催した「菊と緑の会」ですが、コロナの関係もあり参加人数を制限して行った。不参加女性を対象に第2部として、2月の開催を計画していたが開催断念した。</li> </ul>
副委員長 6番 大内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道新に牛のゲップと堆肥の影響で、二酸化炭素が増えて酪農が悪者にされているような記事があったが。</li> </ul>
農政課長 小野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確認はしている。今後情報収集したい。</li> </ul>
委員長 9番 今西	閉会挨拶
委員長 9番 今西	11:32 閉会